



# しあわせ

発行者/社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会  
発行日/平成28年8月10日(年2回)  
E-mail/iideshakyo@poem.ocn.ne.jp  
URL : http://www.iide-shakyo.jp/

## ひとり一人の「生」に光をあて

## しあわせを実感できる暮らしづくり

### — 目 次 —

- 02 設立50周年お祝いのごあいさつ
- 03 記念行事特別寄付金寄付者御芳名
- 04 社会福祉協議会活動関係年表
- 06 これが飯豊社協のあゆみ
- 08 平成28年度「事業計画及び予算の概要」
- 10 平成27年度「事業特徴及び決算の概要」
- 11 障害者差別解消法の施行
- 12 役員・評議員・地域福祉推進委員ご紹介
- 14 思い出のひろば—福祉の里めぐみ—
- 15 広告協賛企業広告

写真提供/「皁月田の朝」 齋藤 徹氏(松原)

### 法人設立五十周年を迎えて



社会福祉法人  
飯豊町社会福祉協議会  
会長 舟山 兵八郎

飯豊町社会福祉協議会法人設立五十周年を記念して、このたび記念号として発行いたしました。

当協議会は、昭和三十年四月、戦後の混乱期から復興期にある中で、人心の動揺の続く時代に任意団体として誕生し、その後、昭和四十一年四月に、新しい社会福祉の理念に基づく公共性の高い福祉団体として社会福祉法人の認可を受け、本年五十年を迎えることが出来ました。

以来、町民のしあわせを願って、地域福祉の推進を住民一人ひとりの参加のもとに目指してきたわけですが、思えば、社会福祉は、時代の移り変わりと共に、幾多の困難と遭遇しながら歴史を刻み、少しずつ発展してきたものといえます。

また、その時々々の社会情勢と町民ニーズに 대응べく常に住民と密着した福祉活動を展開しながら、「住民主体の原則」を大切に守り続けて参りました。この間の諸先輩方のたゆみないご努力に対し、心からの敬意と感謝の意を表する次第です。

法人設立から五十年という節目にあたり、急速な少子高齢化や社会的孤立等を背景とする生活課題の深刻化など、いまだかつて経験したことのないことがらに直面しておりますが、先人達が築き上げた半世紀の歴史を礎に、「ひとり一人の生に光をあて幸せを実感できる暮らしづくり」を目指して役員が一丸となり邁進していく所存でありますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 法人設立五十周年を祝して

飯豊町長 後藤 幸平

飯豊町社会福祉協議会が法人設立五十周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。昭和三十年四月に誕生して以来、長年にわたって地域福祉向上のためにご尽力をされてこられました、歴代の会長をはじめ関係各位の皆様に、あらためて敬意と感謝の意を表します。

少子高齢化が見えない速さで進む中、社会環境と個人の意識変化を背景に、町民の福祉に対する要望も多様化してきました。こうしたことに対応するため、本町では平成二十六年三月に『飯豊町地域福祉計画』を策定し、地域での支え合いや助け合いを基調として福祉による町づくりを推進していくことを決定しました。また、平成二十七年十月には、人口の将来展望を示す『飯豊町人口ビジョン』と、平成三十一年度までの政策目標や基本的方向をまとめた『飯豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略』策定し、未来への五つの種をまき、人口減少に歯止めをかけるための具体的な施策を展開しているところであります。

飯豊町社会福祉協議会では町とも連携し、平成二十七年三月に、相互扶助と地域を支え合いづくりの推進に焦点を当てた『飯豊町地域福祉活動計画』を策定され、「幸せを実感できる暮らしづくり」に向けた具体的な活動を展開いただいております。

自助・互助・共助・公助の適切な組み合わせの中で、だれもが住み慣れた地域でいきいきと暮らせる町づくりを推進するために、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、飯豊町社会福祉協議会のみならずのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍をご祈念いたしましたし、お祝いの言葉といたします。



## 法人設立五十周年を祝う

社会福祉法人山形県社会福祉協議会

会長 青山 永策

飯豊町社会福祉協議会が法人設立五十周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りであり、心からお祝いを申し上げます。

昭和三十年代の社会福祉協議会（社協）の草創期、社協の方向を明らかにすべく、全国各地の社協職員が飯豊町に参集し、町民参加のもと活動事例を中心に討議を重ね、わが国の社協の「住民主体の原則」が確認されました。

飯豊町は、いわゆる「山形会議」の地として社協の活動指針である『社会福祉協議会基本要項』の策定に大きな役割を果たされました。

飯豊町社協はこの山形会議を経た昭和四十一年三月に法人化され、以て来五十年にわたり、地域住民の日常的な心配ごとや生活問題はもとより、地域に潜在化している福祉課題の掘り起しと解決に向け、小地域福祉活動やふれあいいきいきサロンなど各種事業に積極的に取り組んでこられました。

近年では、厚生労働省モデル事業の「安心生活創造事業」にも取り組み、集落や地域が有する支え合い機能の充実強化について検討し、全国にその成果を提供するなど、まさしく法人の地域における公益的取り組みを先駆的に実践しております。私どもも大きな期待を寄せているところであります。

法人設立五十周年を機に、役員員並びに関係者各位、そして住民が力を合わせ、更なる「住民主体」の歴史を積み重ねられるようご期待申し上げます。



### 幸せを願いながら

法人社協設立第一期理事

竹田 カツ

飯豊町社会福祉協議会法人設立五十周年の節目を迎えられましたこと誠に、おめでとうございます。

歴代の町長さん始め会長さん、事務局長さんらのご苦勞と、支えて来られました多くの方々に敬意を表したいと思います。

法人化以前に理事として参加致し、当時は福祉に対する理解の行き渡らない時代で、会長さんの梅津素行先生、事務局長さんの嶋貫清吉さんの説明を、一言一句聞き漏らすまいと身をかたくした一時、また、法人化に喜びと責任の重大さに緊張した一時、総てが私にとって、大切な思い出です。

平成三年、特別養護老人ホーム「ひめさゆり荘」の開所をはじめ、在宅複合型老人福祉施設「福祉の里めぐみ」などの高齢者福祉の拠点となる建物が次々と整備され、今では住民の幸せの誇れる町になりました。

先日、町内の介護老人保健施設とグループホームを訪ねました。館内の清潔さ、職員の方々の笑顔と優しさ、入所されている方々にも幸せそうな表情と言葉に感動して帰りました。

併し世の中は、今後、増々少子高齢化、働く若者の減少、更に、毎日の新聞、テレビ等に、事件事故が放送されている中、福祉活動の重要性が叫ばれています。

いま、町内を見渡してみますと、家々のまわり、道路は美しい花が咲いています。住民一人一人の心の中にも、美しい福祉の花を咲かせたいものです。今後も福祉の町として、増々発展なさいますことをご祈念申し上げて、お祝いの言葉にかえさせていただきます。

## ご支援・ご協力ありがとうございます

### 法人設立50周年記念行事 特別寄付金寄付者御芳名

みなさまからお寄せいただきました寄附金は、地域福祉推進のための各種記念事業に活用させていただきます。

- **企業・団体（敬称略）**
- 〔あ〕 いいで福祉会、飯豊町観光協会、(株)飯豊町産業開発公社、飯豊町商工会、飯豊町民生委員児童委員協議会、飯豊町役場管理職会、飯豊めぐみの里(株)、いいでめぐみの里福祉会、(有)いいで旅館、(株)伊藤造園土木、上田スポーツ店、(株)ウマイヤ商店、(株)梅津商店、エヌ・デーソフトゥエア(株)、(有)エムエス、遠藤設備建設(株)、大竹電気工事(株) 家具のさいとう、(有)木村自動車、(株)協和ハウス、(株)国分石材、(有)後藤農場
- 〔さ〕 (有)斎藤組、さかい食堂、(株)佐藤管工業、(株)佐藤鉄筋、(株)佐藤防災、(株)サン十字、四季彩魚豊味、須貝周一税理士事務所、(株)鈴木建築設計事務所、(株)仙台トラベル、ソック(株)
- 〔た〕 (株)高橋工務店、(株)田中屋、豊川建設(株)
- 〔な〕 長沼安義税理士事務所、西置賜ふるさと森林組合、農家レストランエルベ
- 〔ま〕 樋口建設(株)、(株)ホリエ
- 〔は〕 マルシチ米穀(株)、(株)三ツ柳道路、(株)緑のふるさと公社、めぐみ交通(株)、(株)メフォス
- 〔や〕 J A 山形おきたま、山交観光(株)、土地家屋調査士横山幸造事務所
- 〔わ〕 ワタキューセイモア(株)、(有)渡部製材所
- **個人（敬称略）**
- 〔あ〕 五十嵐一男、五十嵐節子、五十嵐 勉、五十嵐 眞伊藤 榮造、伊藤 悟、宇津木啓子、宇津木耕一 宇津木達男、梅津 昌平
- 〔か〕 片桐 天山、片桐 泰生、嘉藤 正憲、菅野 誠一 木村 勝男、小松 一芳
- 〔さ〕 鳴貫 吉晴、須貝 周一、鈴木 廣志、清野 孝 高橋 憲策、高橋 玄舟、高橋 庄一、高橋 義行
- 〔な〕 竹田 昭平、竹田 經、手塚 勝助
- 〔は〕 長岡 米次
- 〔わ〕 舟山 直志、舟山兵八郎、古川正次郎、本間 秀實 本間 衛
- 〔や〕 横澤 吉和
- 〔わ〕 渡部 道雄

# 活動関係年表

年号	西暦	社会の動き等	町社協の取り組み
S 20	1945	終戦	
S 21	1946	恩賜財団同胞援護会設立／旧生活保護法施行	民生援護会発足 (旧戦後統奉公会)
S 22	1947	第1回共同募金運動提唱／児童福祉法施行	「蚊の撲滅運動」全国から注目 (衛生組合／国保組合)
S 23	1948	民生委員法施行／ヘレンケラー女史来県	
S 25	1950	朝鮮戦争／特需景気／身体障害者福祉法施行 <b>社会福祉協議会組織の基本要領策定</b> (社協準備会)	
S 26	1951	<b>社会福祉事業法施行</b> ／県・郡社会福祉協議会創設	
S 27	1952	日本赤十字社法公布	<b>豊原村社会福祉協議会結成</b> (民生援護会から改名)
S 28	1953		添川、豊川村社会福祉協議会結成
S 29	1954	豊原・豊川・添川村が合併「飯豊村」誕生	
S 30	1955	世帯更生資金貸付制度発足	<b>飯豊村社会福祉協議会創設</b> (任意団体) 中・椿に季節保育所 (地域立)
S 31	1956	日本が国際連合加盟	手ノ子・萩生・添川・黒沢に季節保育所 認可さゆり保育園、つばき保育園常設化
S 32	1957		<b>飯豊町社会福祉協議会創立</b>
S 33	1958	中津川村と飯豊村が合併「飯豊町」誕生 日本社会事業短大による社会福祉調査 (中・黒沢)	全国福祉大会会長表彰受賞
S 34	1959	伊勢湾台風／国民年金法施行	専任職員配置、椿区立保育所を社協運営
S 35	1960	<b>全国社協組織部長会議 (山形会議) が飯豊町を舞台に開催</b> 住民主体論を明確にした歴史的会議となる	福祉金庫設置／添川・萩生保育園開設
S 36	1961		NHK「村の相談役」放映 ひまわり保育園・手ノ子保育園開設
S 37	1962	<b>社会福祉協議会基本要項策定</b> (全社協)・全老連設立	「心配ごと相談所」常設化／黒沢保育園開設
S 38	1963	老人福祉法施行／母子福祉法施行 西置地方福祉連絡会議設置	<b>自民党政調会・全社協視察</b> ／須郷保育園開設 町老人クラブ連合会結成
S 39	1964	東京五輪・パラリンピック東京大会	町保育研究会結成
S 40	1965		法人化研究委員会設置 廃品回収運動実施 (基本金積立)
S 41	1966	市町村社協福祉活動専門員設置 (国庫補助開始) 敬老の日制定	<b>社会福祉法人認可・設立登記</b> 分収林設置／会費募集開始
S 42	1967	羽越集中豪雨災害	組織的献血運動開始 第1回町保健福祉研究集会開催
S 43	1968		善意銀行設置
S 44	1969		「高峰地区」保健福祉活動推進地区指定
S 45	1970	日本万国博覧会／社会福祉施設緊急整備5ヵ年計画 障害者基本法施行	創設15年記念誌「しあわせを拓いて」発行 <b>厚生大臣感謝状</b> (献血推進) 家庭奉仕員老人世帯訪問開始
S 47	1972	札幌冬季五輪／社協シンボルマーク制定	社会福祉基金設置
S 48	1973	70歳以上高齢者・乳児・重度心身障害者医療費無料化開始	<b>全国社協広報誌コンクール佳作受賞</b> (全社協)
S 49	1974		千葉県千倉町長らが本会視察 (第一小・七浦小交流に発展)
S 50	1975		アルコール問題を語る会を立ち上げ
S 51	1976	ロッキード事件／本県福祉のまちづくり育成事業実施	第1回第一小・七浦小児童交歓会
S 52	1977	民生委員の日・活動強化週間制定	
S 53	1978	日本テレビ愛は地球を救うスタート	
S 54	1979	県民総ボランティア「愛のかけ橋運動」展開	
S 55	1980		むだを無くす (生活の簡素化) 運動展開
S 56	1981	国際障害者年「完全参加と平等」	(住民会費1,000円)



初代会長 金子 春次 (S30.4 ~ S38.4)



第二代会長 小松泰二郎 (S38.4 ~ S40.4)



第三代会長 須貝 一郎 (S40.4 ~ S41.4)



第四代会長 梅津 素行 [法人化設立初代会長] (S41.4 ~ S54.4)



第五代会長 小松韓紀児 (S54.4 ~ S57.4)

# 社会福祉協議会

年号	西暦	社会の動き等	町社協の取り組み
S 57	1982		総合企画、広報、財政委員会を編成
S 58	1983	市町村社協法制化 (社会福祉事業法改正) / 老人保健法施行	
S 60	1985	平均寿命男74.5歳、女80.2歳、日本世界一の長寿国	連絡員制度から地域福祉推進委員に改称
S 61	1986		社会福祉基金造成運動
			車いすエアマット等貸出事業開始
S 62	1987		高齢者福祉懇談会設置
S 63	1988	竹下内閣ふるさと創生事業	(住民会費1,300円)
H 元	1989	昭和天皇崩御 / 消費税3%導入	
		ゴールドプラン高齢者保健福祉推進十ヵ年戦略策定	
H 2	1990	世帯更生資金が生活福祉資金貸付制度に改称	
H 3	1991	中東湾岸戦争勃発 / 特養ひめさゆり荘開所	家庭奉仕員をホームヘルパーに改名 (4名体制)
H 4	1992	新・社会福祉協議会基本要項策定 (全社協)	
		山形べにばな国体・輝きのべにばな国体	
H 5	1993	主任児童委員設置	役場庁舎から青年研修所 (現商工会) に事務所移転
H 6	1994	新ゴールドプラン高齢者保健福祉と5ヵ年計画 (改定)	
H 7	1995	阪神淡路大震災・エンゼルプラン策定	ホームヘルパー派遣事業 (事業費補助導入)
H 8	1996	新ふれあいネットワークプラン21基本構想制定	千倉町と本町が友好都市提携
H 9	1997	消費税5%に引き上げ / 児童福祉法改定	福祉ほのほのカレンダー製作
H 10	1998	長野冬季五輪・長野パラリンピック / NPO法施行	(住民会費1,700円)
		全国ボランティアフェスティバル本県開催	成人1人100円ボランティア募金と統一
H 11	1999	新エンゼルプラン策定 / 地域福祉権利擁護事業制度化	いきいきネットワーク推進事業 (県社協)
			緊急通報装置設置
H 12	2000	介護保険法施行 / 児童虐待防止法施行 / 社会福祉法に法名改正 (旧社会福祉事業法)	在宅複合型老人福祉施設「福祉の里めざみ」開所
		65歳以上人口2千万人超	介護保険指定居宅サービス業務開始
H 13	2001	米国同時多発テロ	町ボランティア連絡協議会組織化
H 14	2002	ケアハウスめざみの里開所	24時間テレビよりリフト付きバス寄贈
H 15	2003	支援費制度施行 / 出生率 1.29	第8回町民福祉福祉大会開催
			介護事業財政調整基金設置
H 16	2004	新潟県中越地震	指定身体障害者居宅生活短期入所支援事業認可
H 17	2005	個人情報保護法施行	指定知的障害者居宅介護支援事業認可
H 18	2006	障害者自立支援法施行 / 高齢者虐待防止法施行	デマンド交通システム「ほほえみカー」運行開始
H 19	2007	郵政民営化	
H 20	2008	後期高齢者医療制度開始 / リーマンショック派遣切り	
H 21	2009	定額給付金支給 / 本町が安心生活創造事業の地域福祉推進市町村に (H21 ~ H23)	支え合いの暮らし実現戦略会議 (社会福祉推進費 / 厚労省)
H 22	2010	子ども手当支給	福祉の里めざみ開所10周年記念式典挙行
			社会福祉協議会優良活動表彰受賞 (全社協)
H 23	2011	東日本大震災	公式ホームページ開設
H 24	2012	障害者虐待防止法施行	
H 25	2013	障害者総合支援法施行	月間福祉 (全社協) に集落ワークショップ特集記事掲載
H 26	2014	消費税8%に引き上げ / 障害者権利条約批准	第1期町地域福祉活動計画策定
			福祉サービス利用援助事業開始
H 27	2015	生活困窮者自立支援法施行 / 子ども子育て支援法施行	社協・介護サービス事業経営改善計画策定
		新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン (厚労省)	生活困窮者自立支援事業開始
H 28	2016	障害者差別禁止法施行 / 社会福祉法一部改正	法人設立50周年



第六代会長 渡部 孝吉 (S57.4 ~ H12.11)



第七代会長 五十嵐 勉 (H13.4 ~ H14.4)



第八代会長 高橋 玄舟 (H14.4 ~ H20.4)

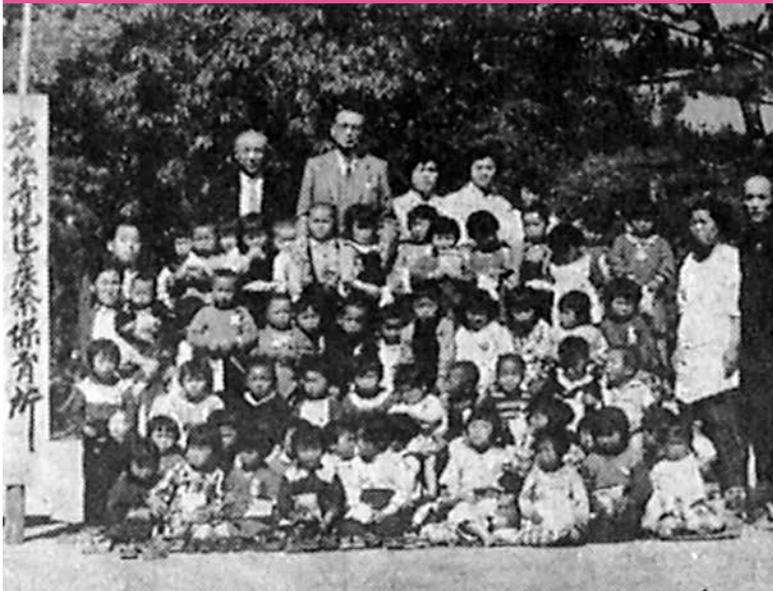


第九代会長 長岡 米次 (H20.4 ~ H20.8)



第十代会長 舟山兵八郎 (H20.12 ~ 現在)

# これが飯豊社協の「あゆみ」



中地区に設置された「岩松寺農繁期保育所」(昭和29年)



飯豊村社会福祉協議会設立総会 (昭和30年)



婦人会の醸出金品蒐集風景(豊原地区) (昭和30年)

戦後社会福祉の確立期 (S20～33年頃)  
社協のめばえ／こどもの幸せを高める運動



社協が住民に「こどもの遊び場づくり」を呼びかける (昭和28年)



廃品回収運動は、家庭環境美化に加え自主財源確保と住民との対話が目的となっていた (昭和40年代)



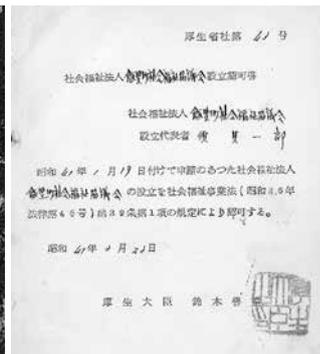
「かあちゃん9時運動」で農繁期の重労働から解放 (昭和30年代)



創設15年を記念して発行した飯豊社協15年のあゆみ (昭和45年)



梅津会長 (医師) による衛生講話 (昭和44年)



法人設立認可は県内6番目 (昭和41年)

社会福祉制度の拡充期 (S34～40年代)  
社会福祉協議会法人設立・保健福祉活動を展開

# 住民のしあわせを拓くために



S 50年代になると青年ボランティアの活動が盛んになる



S 55年結婚式の簡素化が生活課題となり、「むだをなくす運動」として社協もコミセンの結婚式をバックアップ (S 55年)



出稼ぎ世帯問題として、留守家族に対し相談支援を継続的に実施



「飯豊町保健福祉研究集会」は、住民各層の参加を得て、4年に1度のペースで開催



S 60年には3名のホームヘルパーが20世帯を訪問

見直し期／福祉コミュニティづくり (S 50～60年代)  
人口の高齢化進む／ボランティア活動推進



社会福祉推進事業 (厚労省) の取り組みをきっかけに「集落ワークショップ」事業化 (H 21～)



介護保険施行と同時に「福祉の里めぐみ」開所 (H 12年)



デマンド交通システム「ほほえみカー」の運行開始 (H 17年)



地域福祉活動計画策定 (H 26年度)



社協が仕掛け人となり高齢者等の集まり、サロン化を推進 (H 11年～)

改革期／新しい制度のもとに (H 元～現代まで)  
公的介護保険施行／地域福祉の推進に向けて

# 平成28年度 事業計画の概要

**【重点①】** 地域福祉活動計画の実現に向けて、住民や関係者等へ計画の普及に努め「幸せを実感できる暮らしづくり」を進めていきます。

**【重点②】** 地域における深刻な生活課題や生活困窮者への総合相談。生活支援、さらには福祉サービス利用援助事業の充実に取り組みます。

**【重点③】** 介護事業所におけるサービス内容の充実と利用者本位の施設運営を強化し、組織全体で経営安定に努めます。

**【重点④】** 法人設立50周年を機に、地域福祉の一層の推進を図るため、すべての職員が自覚と責任を持ち、ともに汗を流す職場をつくります。

- 「個」を支える事業**
- 1 心配ごと相談事業【受託】
  - 2 生活困窮者自立支援事業(自立相談・家計相談)【受託】
  - 3 生活福祉資金及び福祉更生資金貸付事業【受託】
  - 4 緊急通報装置見守り支援システム運用事業【受託】
  - 5 福祉サービス利用援助事業【受託】
  - 6 デマンド交通事業
  - 7 地域介護予防事業【受託】
  - 8 介護予防支援事業【受託】
  - 9 安心生きがい訪問事業【受託】
  - 10 **新**いのちのバトン設置普及事業【受託】
  - 11 経済的支援が必要とされる世帯への商品券進呈事業
  - 12 安否確認を必要とする世帯への特別配食サービス事業
  - 13 要保護準要保護認定児童激励支援事業
  - 14 災害救済金交付事業
  - 15 車椅子貸出事業
  - 16 生活事故防止に向けた啓発



- 在宅での「介護」を応援する事業**
- 1 家族介護支援事業(在宅介護者の集い開催)【受託】
  - 2 指定居宅介護支援事業【介護保険】
  - 3 介護予防ケアマネジメント【受託】
  - 4 指定訪問介護事業【介護保険】
  - 5 指定介護予防訪問介護事業【介護保険】
  - 6 **新**訪問自費介護サービス事業
  - 7 **新**福祉有償運送サービス事業
  - 8 指定居宅介護・重度訪問介護事業【障害福祉サービス】
  - 9 指定通所介護・指定介護予防通所介護事業【介護保険】
  - 10 指定認知症対応型通所介護・指定認知症対応型介護予防通所介護事業【介護保険】
  - 11 指定短期入所生活介護事業【介護保険】
  - 12 指定介護予防短期入所生活介護事業【介護保険】
  - 13 指定短期入所事業【障害福祉サービス】
  - 14 在宅老人短期入所施設利用弾力化事業【受託】

- 支え愛の「形」をつくる事業**
- 1 飯豊町地域福祉活動計画の推進
  - 2 集落ワークショップ開催事業
  - 3 単身高齢者のための会食サービス事業
  - 4 ふれあいグラウンドゴルフ大会開催事業
  - 5 小地域見守り活動支援事業
  - 6 ふれあいいいききサロン活動育成支援事業
  - 7 おしどり金婚さん記念品贈呈事業
  - 8 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
  - 9 中学校同窓会支援事業
  - 10 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動



- 支える「人」を支える事業**
- 1 ボランティア活動振興事業
  - 2 災害時支え合いボランティアの構築
  - 3 福祉学習推進事業
  - 4 ボランティアによる福祉年賀状作成事業
  - 5 福祉の仕事に関する情報支援
  - 6 町ボランティア連絡協議会への活動支援
  - 7 レクリエーション用具の貸出事業



- 信頼性の高い「組織」づくり**
- 1 社協広報誌「しあわせ」発行・ホームページ開設
  - 2 福祉関係団体の育成支援
  - 3 寄付文化の創造
  - 4 職員の研修及び人材育成
  - 5 福祉サービスに関する苦情対応
  - 6 適正な法人運営と社会福祉施設管理
  - 7 **新**法人設立50周年記念事業
  - 8 **新**社会福祉法人制度改革及び地域公益活動の推進に関する対応

# 平成28年度 収支予算の概要

## 【収入の部】

単位：千円

科 目	予 算 額	主 な 内 容
会費収入	3,715	住民会費（1世帯1,700円）、賛助会費（関係者、関係団体等）
寄附金収入	600	指定寄付金
経常経費補助金収入	42,405	運営費補助金、法人設立50周年記念事業補助金、居宅介護サービス事業安定化補助金、デマンド交通事業補助金、共同募金配分金（一般募金及び歳末たすけあい配分）
受託金収入	6,759	生活困窮者自立支援事業受託金、緊急通報装置運用事業受託金、高齢者等相談事業受託金、福祉サービス利用援助事業受託金、生活福祉資金貸付事業受託金、いのちのバトン事業受託金
貸付事業収入	1,200	福祉更生資金償還金
事業収入	6,693	デマンド交通事業利用料、福祉サービス利用援助事業利用料、訪問自費介護サービス利用料等
介護保険事業収入	183,109	居宅介護料（介護報酬、利用者負担金）、地域密着型介護料（介護報酬、利用者負担金）、居宅介護支援介護料、その他の事業収入（受託事業）
障害福祉サービス等事業収入	3,486	自立支援給付費収入 等
受取利息配当金収入	551	各基金等預金利子
その他の収入	1,183	雑収入等
施設整備等収入	2,000	固定資産売却収入
積立資産取崩収入	20,803	介護事業財政調整基金取崩収入(16,630千円)その他資産取崩収入(4,173千円)
繰入金収入	23,601	拠点区分間繰入金収入(19,341千円)サービス区分間繰入金収入(4,260千円)
合計	296,105	

## 【支出の部】

単位：千円

社会福祉事業区分	予 算 額
社会福祉拠点	58,106
法人運営事業	31,073
緊急通報装置運用事業	2,480
共同募金配分金事業	3,589
福祉サービス利用援助事業	961
福祉更生資金貸付事業	1,200
基金運営事業	18,803
介護拠点	209,992
高齢者介護予防事業	7,941
居宅介護支援事業	19,920
訪問介護事業	29,182
通所介護事業	78,032
短期入所生活介護事業	74,917

公益事業区分	予 算 額
困窮者支援拠点	2,423
自立相談支援事業	1,994
家計相談支援事業	429

収益事業区分	予 算 額
デマンド交通拠点	25,584
デマンド交通事業	25,584

合 計	予 算 額
	296,105



### 職員人事異動のお知らせ

#### 【退職者】

（三月三十一日付け）  
佐藤 久子（主任）  
（六月三十日付け）  
五十嵐和則（主任）

#### 【新規採用】

（四月一日付け）  
短期入所生活介護センターヘルパー  
小浦 千春

### 苦情相談窓口のお知らせ

本会では福祉サービス等を利用される皆様からの苦情に適切に対応するため、次の通り苦情相談窓口を整備しております。  
処遇の内容に関する苦情やサービスの提供に関する申し立て等がございましたら、苦情解決責任者を中心に解決、改善に努めていきますので、まずは受付担当者にご相談ください。

なお、直接職員に言い難い場合は、第三者委員までお気軽にご相談ください。

#### 【受付担当者】

地域福祉関係（事務局） 飯澤 成三  
在宅介護支援センター 川崎美由紀  
訪問介護ステーション 高橋麻里子  
日帰り介護センター 手塚 栄作  
短期入所生活介護センター 佐原真由美

#### 【解決責任者】

総括 山口四郎右衛門  
介護部門 横澤 晃

#### 【第三者委員】

○…委員長  
○木村 勝男（萩 生） 七二―二八一―九  
五十嵐 眞（手ノ子） 七五―一〇〇―二  
斎藤 久子（松 原） 七四―一二一―〇八

# 平成27年度 事業の特徴・決算概要

## ■事業トピックス

### 1 経営改善計画（社協・介護サービス事業中期経営方針）を策定

介護4事業の経営が難しさを増すなかで、利用者本位の質の高い社協・介護サービスを提供していく上での経営方針や戦略について具体的に示していくため、28年度からの5年間を見据えた「経営改善計画」を策定しました。今後、役職員一丸となって「選ばれる事業所」「皆様に愛される福祉の里」づくりを進めます。

### 2 生活困窮者自立支援法施行による相談窓口設置

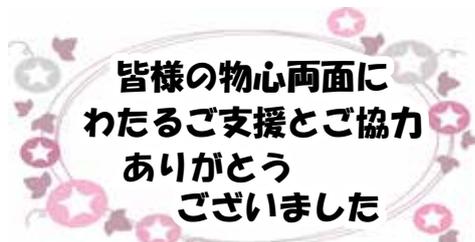
平成27年4月から、生活困窮者自立支援法が施行され、本町においても「働きたくても働けない」「生活費がない」などの生活全般にわたる困りごとに応えるため、社協内に西置賜地域生活自立支援サブセンターを設置し、他の専門機関と連携して、相談者の生活課題の解決に向けた支援を行っています。

### 3 社協職員“人材育成の基本方針”を策定

わたしたちが「目指すべき職員像＝社協人（マン）」や「社協マンに求められる能力、態度」を明らかにし、職員が自ら、そして互いに成長できるような職場風土を形成していくため、人材育成における基本方針を独自に定め、効果的なチームプレーを展開できる組織づくりに取り掛かりました。

### 4 法人設立50周年記念事業の実施に向けた検討・準備の開始

法人化が進められ半世紀を迎えるにあたり、本町の地域福祉の発展経過についての振り返りとこれからの社協活動ビジョンの発信を一体的に行うため、実行委員会を立ち上げて記念式典の準備など、記念事業の成功にむけて検討を続けてきました。



## ■会計概要

### 貸借対照表の要旨

(平成28年3月31日現在) (単位：円)

科目		金額
の資産	流動資産	115,485,808
	固定資産	574,593,775
	合計	690,079,583
負債及び純資産の部	流動負債	12,607,141
	固定負債	71,809,900
	純資産	605,662,542
	基本金	100,000
	基金	185,014,318
	国庫補助金等特別積立金	311,129,672
	その他の積立金	1,660,034
	次期繰越活動収支差額	107,758,518
	(うち当期活動収支差額)	(5,465,662)
	合計	690,079,583

脚注/減価償却の累計額 468,090,796

### 事業活動計算書の要旨 (単位：円)

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

科目	金額
会費収益	3,709,800
寄付金収益	38,500
経常経費補助金収益	41,189,215
受託金収益	6,499,160
事業収益	6,575,500
介護保険事業収益	184,675,607
障害福祉サービス等事業収益	2,786,260
その他のサービス活動収益	5,838,636
受取利息配当金収益	477,456
その他のサービス活動外収益	800,232
固定資産受贈額	1,969,000
収益合計	254,559,366
人件費	169,273,251
事業費	24,093,140
事務費	49,095,718
共同募金配分金事業費	3,488,038
助成金費用	114,300
負担金費用	46,000
基金組入額	1,573,106
減価償却費	20,485,316
国庫補助金等特別積立金取崩額	-19,387,025
その他のサービス活動費用	5,743
その他のサービス活動外費用	306,116
固定資産売却損・処分損	1
費用合計	249,093,704
当期活動増減差額	5,465,662

※決算書類の閲覧は法人事務局にお問い合わせ下さい。

平成28年  
4月から

# しょうがいしゃさべつかいしょうほう 障害者差別解消法

(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)

## が施行されました



**Q** 障害者差別解消法とは、どんな法律ですか？



**A** この法律は、国や都道府県、市町村といった行政機関や、お店・会社などの民間事業者の「障がいを理由とする差別」を禁止し、障がいのある人もない人も、みんながお互いの人権と個性を尊重し、共に支えあうことのできる共生社会をつくるための法律です。

### こんなことで困っていませんか？



役場に手続きに行き、何度も聞いた相手をしてくれなくなった。



買い物をしている時ジロジロ見てくる視線が気になる。



保護者や介助者が一緒にいないと、お店に入れない。

やむを得ない理由もなく、ただ障がいがあるというだけでサービスなどの提供を拒否したり、制限したり、障がいのない人にはつけないような条件をつけたりすることは好ましくありません。

障がいのある人が、障がいのない人と同じように日常生活又は社会生活を営むことができるよう、

『障がいの特性に合わせた配慮』をすることが大切です。←ごうりてきはいりよ合理的配慮と言います。

障がいのある人が働きやすいように、職場の環境や勤務条件などを柔軟に変更する。



障がいのある人が理解しやすいように、筆談で伝えたり書類にふりがなをつけたりする。



障がいのある人に対して、買い物をする時に店員が案内したり、棚の品物を取ってあげるなどの手助けをする。



# 役員紹介

定数:理事13名/監事2名/平成28年7月1日現在

- 理事/法人の中心となる機関が理事会となり、理事の合議体である理事会において法人・施設の経営方針を立て、事業計画や予算等の法人の重要な方針決定に参画します。理事は、社会福祉法人の事業運営の全体について責任を負うものであり、その責務は極めて大きなものがあります。
- 監事/業務執行の状況及び法人の財産の状況について監査を行う監事は、2名のうち1名は「財務諸表等を監査し得る者」、もう1名は「福祉事業について学識経験を有する者又は地域の福祉関係者」の中から選任されています。



会長  
舟山兵八郎  
第⑤号選出



理事  
高橋 憲策  
第①号選出



理事  
竹田 経  
第⑤号選出



理事  
本間 秀實  
第⑤号選出



理事  
伊藤 榮造  
第⑤号選出



常務理事  
古川正次郎  
第④号選出



副会長  
嶋貫 吉晴  
第④号選出



副会長  
(会長職務代理者)  
手塚 勝助  
第①号選出



監事  
鈴木 廣志  
学識経験者



監事  
須貝 周一  
税理士



理事  
五十嵐節子  
第③号選出



理事  
菅野 誠一  
第②号選出



理事  
片桐 天山  
第③号選出



理事  
渡部 道雄  
第⑤号選出



理事  
宇津木啓子  
第②号選出

### 【理事選出区分・構成比率】

第1号	住民自治組織の団体代表	2名	第3号	公私社会福祉保健衛生施設及び団体代表	2名
第2号	民生委員児童委員協議会代表	2名	第4号	社会福祉関係行政機関	2名
			第5号	住民福祉活動奉仕者・代表者並びに学識経験者	5名

(理事顔写真は会長以下上段右から職務代理順に掲載)

## 平成28年度 社会福祉協議会地域福祉推進委員紹介

### 地域福祉推進委員とは？

社会福祉協議会の事業の円滑を図るために、部落等の集落単位に地域福祉推進委員を設置し小地域の福祉活動を推進することを目的としております。規程上、委員は町内各部落長等を会長が委嘱することとなり年1回地域福祉推進委員会に出席頂き地域の諸問題についてご指導頂いております。

### 具体的な活動は？

- (1)社会福祉協議会の連絡事項を速やかに部落等内の住民に周知徹底を図る役割を担って頂いております。
- (2)常に地域住民の保健福祉に欠ける状況を把握し、社会福祉協議会と連携の上、地域住民による見守り活動や支え合い活動を推進するキーマンとなってご活躍頂いております。
- (3)町社協の行う保健福祉事業に協力し、地域住民の健康と生活を高める運動に努めて頂いております。

※従って、民生委員児童委員とは活動内容が異なります。

黒沢地区	
組織名	委員氏名
深淵西	館 石 政 一
深淵東	渡 辺 徳 次
谷地田	佐 藤 修 司
吉 長	峯 村 満
旭	佐 藤 孝 栄
叶 内	菅 野 孝 夫
坪 沼	那 須 隆
二本松・五反田	井 上 慶 一
高 柳	渡 部 堅 一

中地区	
組織名	委員氏名
中 西	高 橋 義 行
中 北	佐 藤 千 壽
酒 町	島 貫 正 市
北酒町	長 岡 勝
北新田	嶋 貫 新 一
南新田	山 口 淑 雄
沖	菅 野 誠 一

萩生地区	
組織名	委員氏名
高野・寺分	石 山 次 夫
町 西	土 屋 秋 夫
町 上	伊 藤 賢 一
萩生町	木 村 一 友
石 原	加 藤 正 二
中ノ目南	清 野 孝
中ノ目北	嶋 貫 孝 志
いいでハイツ	安 藤 潤

# 評 議 員 紹 介

定数:30名/現数29名(欠員1名)/平成28年7月1日現在

質の高いサービスの提供と健全で安定した運営を行うことができるために、評議員会の構成員としての活躍が強く期待されています。評議員は、理事会から独立した評議員会に参加し、諮問に応じて自由に意見を述べるなどして理事とは異なる観点・立場から、社会福祉法人の適正な運営のために貢献される方です。



小白川地区	
組織名	委員氏名
上 郷	佐 原 善 仁
中 郷	高 橋 一 夫
十文字	伊 藤 重次郎
上 野	横 山 孝
下 野	横 山 博
北上野	田 中 清
野 山	安 部 新 一

中津川地区	
組織名	委員氏名
岳 谷	伊 藤 幸 雄
岩 倉	鈴 木 文 雄
川内戸	鈴 木 良 則
白 川	高 橋 一 浩
下屋地	鈴 木 泉
上 原	安 部 弘
遅 谷	山 口 八 郎
宇津沢	高 橋 政 義
広河原	丸 山 茂
小 屋	伊 藤 浩 一 郎

椿地区	
組織名	委員氏名
椿第一	遠 藤 芳 昭
厚 生	後 藤 芳 昭
財津堂	鈴 木 廣 志
上 野	長 岡 一 彦
坂ノ下	立 石 一 夫
駅 前	伊 藤 新 栄
辻	船 山 清 一
諏 訪	長 沼 知 明
小 原	志 田 祐 一
下 椿	小 松 新 一

高峰地区	
組織名	委員氏名
西高峰	大 堀 幹 雄
中 通	寒 河 江 勝
橋 本	井 上 通 洋
東 向	高 橋 孝
西 向	大 城 清

東部地区	
組織名	委員氏名
上 代	二 瓶 秀 一
昭 和	遠 藤 克 二
下 町	須 貝 周 一
上 町	加 藤 富 夫
東 山	佐 原 次 男
中 洞	遠 藤 敏 廣
大 旦	島 貫 泰 弘
下川原	高 橋 芳 彦
松 原	菊 地 友 男

手ノ子地区	
組織名	委員氏名
八 幡	井 上 俊 一
町 上	西 山 研 一
町 中	横 山 昇 一
町 下	安 部 洋
落 合	舟 山 政 男
向 原	古 川 啓 治
向原北	金 田 春 敏
荻	鈴 木 昇

# 思い出のひろば

あんなことや

こんなことや

いろいろ  
あったけなあ



## 観桜会



長井市つつじ公園にて 今年もきれいです。

## ショートステイ



チューリップ畑 あ〜すの前にて

## どらやき作り



みんなでおいしく食べました。

## ゆい園売店前にて



ソフトクリームを食べてきました。



### 社協「人材育成の基本方針」を策定

- ① 社協の理念を実現するために必要な人材を育成します。
- ② 人材育成を当面の最優先課題に位置づけま
- ③ 職員育成の対象はすべての職員です。
- ④ 職員が自ら成長するためのシステムを構築
- ⑤ 職員の持ち味、個性を活かします。
- ⑥ 職員の自覚とやる気を引き出します。
- ⑦ 職員ひとり一人をチームの一員として支援
- ⑧ 職員の専門性のみならず、社会的、人間的
- ⑨ 個の成長と職員相互の相乗効果により、組
- ⑩ 自ら学び、部下・後輩を育て、互いにレベ



#### 平成28年度研修計画

##### 事業主が主催する訓練、研修

- ① 新採職員対象（採用後1回）
- ② ミドルリーダー対象（年2回）
- ③ 管理職対象（年1回）
- ④ 全員対象（年1回）

##### 職員による自主研修

- ① 年間4回以上の研修を研修委員会が主催

平成28年度広報支援協賛企業紹介 ～私たち企業は、飯豊町の福祉事業を応援します～



お客様第一主義のもと  
豊かな食文化を創造する

私たちメフォス(Medical Food Service)は、  
医食同源を礎にあらゆるシーンで給食事業を展開しております。

株式会社メフォス 山形事業部  
〒990-8580 山形県山形市城南町1丁目1-1  
(霞城セントラルビル16F)  
TEL:023-647-0261 fax:023-647-0263

人命保護を技術にこめて  
生命と財産をまもり社会に貢献する



# (株)佐藤防災



住宅用火災警報器の設置はお済みですか  
米沢市中田町875-2  
電話 0238-37-5823

## 東北運輸局指定民間車検場

各種自動車販売・一般整備・車検・板金塗装  
スズキ副代理店 東京海上日動火災保険代理店

# (有)木村自動車

飯豊町椿4504-2  
TEL 72-2160(代)

誰もがすこやかに暮らせる社会の実現のために—

NDソフトは  
飯豊町の福祉を  
応援します



〒992-0479 山形県南陽市和田3369  
TEL: 0238-47-3477(代)  
FAX: 0238-47-3482

詳しくはホームページへアクセス!

<http://www.ndsoft.jp/>

NDソフト

検索



飯豊町の皆さん!  
旅行企画はおまかせ下さい

# 山交観光株式会社

長井案内所 TEL 84-1820

(社)全国旅行業協会会員・  
宮城県知事登録旅行業第2-109号 総合旅行業務取扱管理者 浜田 保



敬老号様では大変お世話になっております  
株式会社 仙台トラベル

〒981-3133 仙台市泉区泉中央三丁目9番地の7  
☎022-374-7431 フリーダイヤル 0120-025015(料金当社負担)

“よりよい生活空間の創造をめざして…”



## 株式会社 鈴木建築設計事務所

代表取締役 藤原 薫

〒990-0055 山形市相生町7-55  
TEL.023-623-1778(代) FAX.023-623-1779  
URL:<http://www.archi-suzuki.co.jp/>

いで湯と山菜の宿  
東北のガマ 日観連会員  
がまの湯温泉



## いいで旅館

〒999-0604 山形県西置賜郡飯豊町椿4,494  
TEL 0238(72)3706(代) FAX 0238(72)3709



快適な環境を創る  
遠藤設備建設株式会社

山形市穂積84-1  
電話(023)641-4561番 FAX(023)641-5697番

笑顔のある暮らしをサポートします!  
介護用品・福祉用具・一般住宅改修

## 株式会社 ウェルランド

〒993-0082 山形県長井市舟場9番18号  
TEL 0238-84-7630 FAX 0238-84-7638

### 各事業所問い合わせ先

社会福祉協議会事務局 TEL: 72-3353 FAX: 72-3532

- 在宅介護支援センター福祉の里めざみ…TEL 86-2231
- 日帰り介護センター福祉の里めざみ…TEL 86-2237
- 訪問介護ステーション福祉の里めざみ…TEL 86-2231
- 短期入所生活介護センター福祉の里めざみ…TEL 86-2236

# 映画「きみはいい子」上映会売上金を社会福祉のために◆町公民館連絡協議会



飯豊町公民館連絡協議会（遠藤和芳会長）から、社会福祉の向上のためにと寄付をお寄せ頂きました。このご寄付は、3月6日に飯豊町町民総合センター「あ～す」で行われた映画「きみはいい子」上映会の売上の一部で、遠藤会長は「上映会には沢山の方々が足を運んでくださいました。社会福祉のために是非お役立てください」と山口事務局長に手渡されました。お預かり致しました寄付金は、本町の地域福祉、在宅福祉の充実等に活用されます。

## 感謝録 みなさまのご厚志に心よりお礼申し上げます

〈今号では平成28年1月21日から7月15日までに届けられた善意を掲載させて頂いております〉

### ●社会福祉事業のために寄付を頂いた方々（順不同）

米野彌壽男 様（添 川） 金原 戒雄・ちえ子 様（静岡県） 飯豊町公民館連絡協議会 様

### ●施設ボランティア慰問、物品寄贈等（順不同）

□物 品 寄 贈 高橋美砂子 様（手ノ子） 鈴木 敏夫 様（手ノ子）

伊藤 勝美 様（高 峰） アグリメントなか 様 飯豊町婦人会 様

□ボランティア 白樺地区民生委員児童委員協議会の皆様 木村 栄子 様（萩生） 井上 文子 様（高峰）



この「生活困窮者自立相談支援事業」事業は、山形県からの委託を受けて実施しています。

あなたの「**不安**」や「**心配**」を聞かせてください

**相談無料**  
**秘密厳守**

失業などで収入が無く、生活に困っている方、働いているのに生活が苦しくて悩んでいる方、障がい等により自立に不安があり、悩んでいる方、その他、さまざまな生活上の悩みなど

こんな悩みを抱えていませんか？



あなたの暮らしが安心した毎日になるように寄り添いながら支援します

### 自立相談支援事業

早期に自立した生活ができるよう相談に応じ支援します

### 家計相談支援事業

経済的な不安に対し家計を再建するための支援を行います

#### ～主な支援メニュー～

- ・ハローワークと連携した就労相談
- ・各種相談機関の紹介
- ・資金の貸付 ・家計管理に関する支援
- などの公的制度、サービスの活用や調整

詳しくは、飯豊町社会福祉協議会内「西置賜地域生活自立支援サブセンター」 ☎72-3353まで

## 住民会費・賛助会費へのご協力誠にありがとうございました

住民の皆様をはじめ関係者及び団体の皆様よりご協力を頂きました会費は、社協運営の基盤となっており、地域福祉を推進するための貴重な財源となっています。

本年度もみなさまのあたたかいご支援により数々の福祉事業ができますことに心から御礼を申し上げますとともに、引き続き社会福祉協議会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

飯豊町社会福祉協議会役職員一同